

「リスク発見訓練」のご提案

防災・減災事業

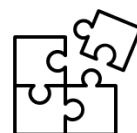
BCP推進の課題

作成したBCP（事業継続計画）、運用できていますか？
BCP対策の停滞には、以下の4つの問題が潜んでいます。



【対策の優先順位】
何から手をつけたら
いいかわからない

【計画との矛盾】
現場の実態とBCPの内容が
ずれている



【外部からの対応】
外部からの問い合わせ増加に
対応できるかわからない

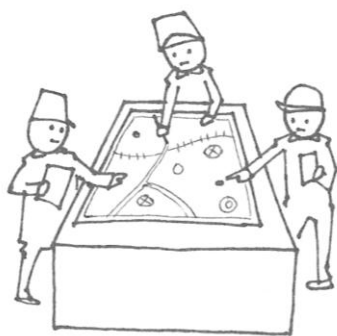
【実効性の不安】
実際の災害に対する
計画の有効性がわからない



BCP対策が停滞すると、災害発生時に機能しない危険性があります。
停滞の原因を洗い出し実効性の高いBCPにするために、対策推進の最初の一歩として、
リスク発見訓練をご提案します。

リスク発見訓練の着目点

リスク発見訓練は、以下の2つに着目して行う訓練です。

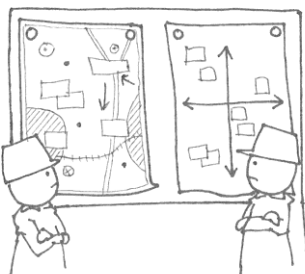


【現場リスクの可視化】
大きい地図や平面図に日常で
感じるリスクを書き出し
空間的・時間的視点で可視化
検討する



【暗黙知の共有】
現場視点の危機感をその場で
引き出し、部署間の垣根を
越えてその場で共有し
意見を交換する

リスク発見訓練には、以下の2つの特徴があります。



【既存事例を活用】
実際の災害を基にしたワークで活発な意見交換を促進する

【特別な道具は不要】
既存の地図と図面、付箋など簡単な準備ですぐ始められる



日本ミクニヤ株式会社

リスク発見訓練のご提案

防災・減災事業

リスク発見訓練のプロセス

リスク発見訓練は以下の4つのプロセスで構成されています。

1 【被害想定の確認】
事例や資料をもとに
自社の被害想定をインプット

2 【可視化のワーク】
想像力を働かせ、図面上に
直接リスクを書き出す

3 【整理のワーク】
洗い出されたリスクを
課題として分類・整理

4 【対策の検討】
課題ごとに具体的な対策を
検討し、明文化する

- ✓ 災害時対応
- ✓ 予防対策
- ✓ 取組むべき課題

BCPへの反映



初動対応の
検討



復旧対応の
検討



リスク発見訓練からの展開

訓練で得られた成果を基に、現場に合わせて
カスタマイズした防災企画のご提案が可能です。

- ✓ 実践的なマニュアルの策定
- ✓ 具体的な対策アクションプランの作成
- ✓ 現場に即した防災資機材の充実化
- ✓ 新しいBCPを活用した各種訓練の実施

